

東洋大学アジア文化研究所所蔵 アジア関係稀覯書のデータベース化作業(1)

Progress of the Database Project of Rare Books about Asia at ACRI,
TOYO University (1)

院生研究員：保科 俊

■稀覯本（貴重書）紹介について

東洋大学アジア文化研究所は大学附置研究所として長い歴史を有し、付属図書館や国内の大学図書館においても稀有な蔵書が見受けられる。蔵書整理は長年の懸案であったが、現在データベース化作業が開始され、当方もその作業を担っている。以下に、このデータベース構築作業途中成果として見出した稀覯本を何点か紹介する。

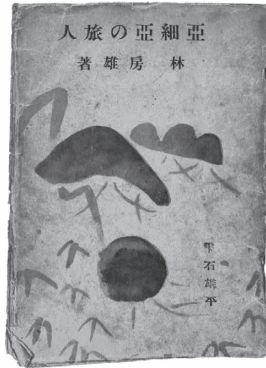
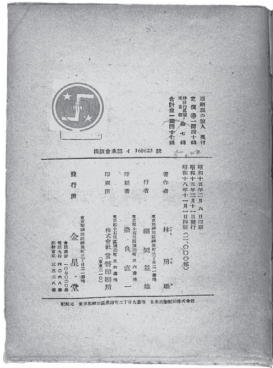
稀覯本の定義は一様ではないが、今回はCiNiiを用いて検索調査し、日本国内の大学図書館所蔵数が10館以下のものをいくつかとりあげている（早慶はじめCiNiiに反映さえないものがあることは理解しているが、ここでは一応の目安としてCiNiiを利用した）。今一つ、今回紹介する図書は所蔵した研究員からの寄贈本が多い。一方で研究所に所蔵された来歴については不明なものが見られる。

以下に紹介する図書は、結果として、戦時中に刊行された図書が多くなった。もちろん戦争を肯定するつもりはないが、当時の文献について無かったものとして扱うことは焚書の考えであり、正しくない。確かに紹介する文献の中には当時の時代背景や根拠の怪しいものも見受けられるが、そのこと自体を事実として精査し研究を行っていくことが現在の我々に課せられた義務であり、今後の日本と世界の間接関係を考える上でも重要であろうことは異論がないものとする。

基本的に、今回選んだ図書は、戦時中の東南アジア圏の図書が多い結果となった。筆者の選定基準が戦時下日本の南進政策に興味が集まったことが大きいであろう。次回は東アジア・南アジアなどそのほかのアジア地域についても紹介していきたい。



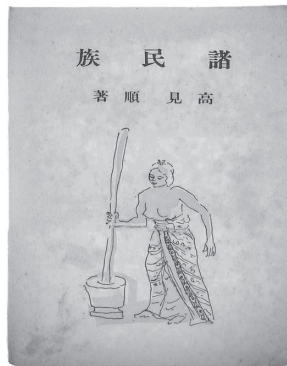
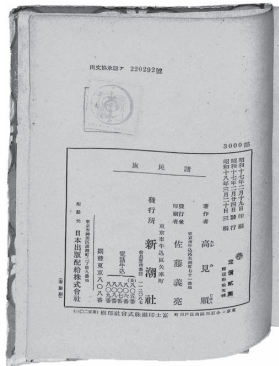
■亞細亞の旅人（新選隨筆感想叢書）



林房雄：著
金星堂発行
1940年刊
個人蔵
NII書誌ID (NCID) : BA43078375
出版国コード：ja
タイトル言語コード：jpn
本文言語コード：jpn
出版地：東京
ページ数・冊数：2,282p
大きさ：19cm
分類 (NDC6) : 914.6
アジア文化研究所登録番号：寄贈
大学図書館所蔵：7館（2020年12月現在）

本書は、著名な作家であった林房雄（1903-1975）による。目次を見ると、「新しき土」「アジアを拓く少年義勇隊」「北堺樺太」「新しき朝鮮」「上海戦線」「戦争の作用」「吉田松陰」「高杉晋作」「幽霊譯詩集」「岡本かの子」とある。この林は、戦後『大東亞戦争肯定論』という書物を発表している。いずれにしてもこのような図書は当時のことについて研究を行う上で非常に重要であろう。なお、「雫石雄平」と本の表紙と裏表紙にある。以前の所有者であろうか。

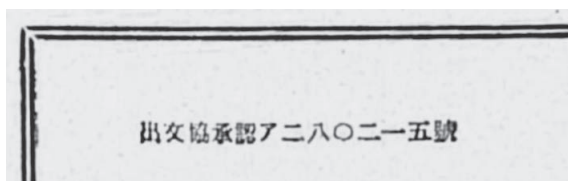
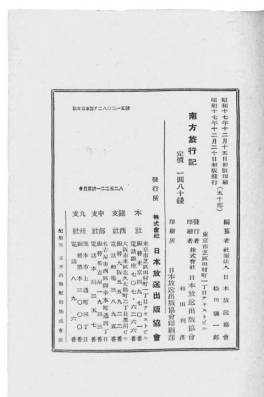
■諸民族



高見順：著
新潮社発行
1942年刊
出文協承認：ア220292號
NII書誌ID (NCID) : BA32883835
出版国コード：ja
タイトル言語コード：jpn
本文言語コード：jpn
出版地：東京
ページ数・冊数：2,345p
大きさ：19cm
アジア文化研究所登録番号：寄贈
大学図書館所蔵：9館（2020年12月現在）

本書は、当時のアジア地域の諸民族について作家である高見順（1907-1965）が記述したものである。著者の高見順は作家として『日曆』『故旧忘れ得べき』『如何なる星の下に』といった著名な作品を残しているが、戦時中は陸軍報道班員として当時のビルマ等に赴いている。

■南方旅行記

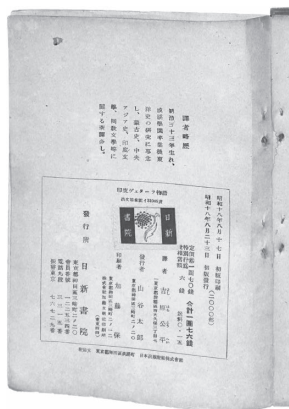


日本放送出版協会,松田儀一郎:編
日本放送出版協会,和田利彦発行
1942年刊
印刷所:日本放送出版協会印刷所
出文協承認:ア二八〇二一五號
会員番号:一二二五二八
NII書誌ID (NCID): BA41943676
出版国コード:ja
タイトル言語コード:jpn
本文言語コード:jpn
出版地:東京
ページ数・冊数:262p
大きさ:19cm
アジア文化研究所登録番号:K2496
大学図書館所蔵:7館(2020年12月現在)

※「出文協承認」とあり、当時の出版事情がわかる。

当時の日本放送協会による編集であり、フィリピン等南方地域について国民学校放送において取り扱った中から8編を放送者に許可を得、出版を行った書籍である。今見ると、執筆者の偏見のような内容もあるが、当時の東南アジア地域の文化風習慣が描かれている。目次にある著者名を見ると「大久保武雄」「仲原善徳」「一杉栄」「鶴見祐輔」「渡邊薫」「澤部謙」「藤岡啓」「福島弘」となっているのを確認できる。日本放送協会のような組織であっても「皇軍の赫々たる戦果と併行して南方に関する多くのお話を放送」とあるように当時らしい書き方をしている。また「出文協承認」とあり、当時の出版事情がわかる。

■印度ヴェターラ物語



バビントン：著，吉原公平：訳
 日新書院発行
 1943年刊
 NII書誌ID (NCID)：BA61081225
 出版国コード：ja
 タイトル言語コード：jpn
 本文言語コード：jpn
 出版地：東京
 ページ数・冊数：3, 158p, 図版 [4] p
 大きさ：18cm
 分類 (NDC9)：929.883
 アジア文化研究所登録番号：寄贈
 大学図書館所蔵：8 館 (2020年12月現在)

本書は、「全印度民衆の間であって、過去長年月に互り、最も人気を博し続けて来た奇談」(p155)で、ヴィクラマーディティヤ王が、ヴェターラという「妖魔」から聞かされたという奇話の翻訳本である。訳者の略歴によれば「明治33年生れ、成蹊学園卒業後東洋史の研究に専念し、蒙古史、中央アジア史、印度文学、同教文学等に関する著訳多し。」とある。

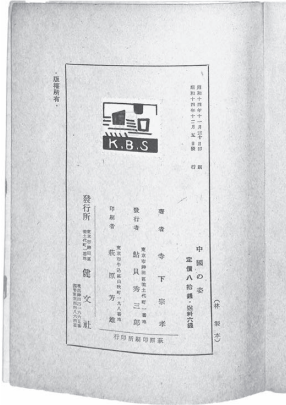
翻訳者の吉原については現在では忘れ去られ、情報を見出すことができない。新聞記事から見ると、当時は雑誌『白雲』の記者とあることが確認できる (1)。他に吉原は『印度民話集』の翻訳も行っている。

参照引用：

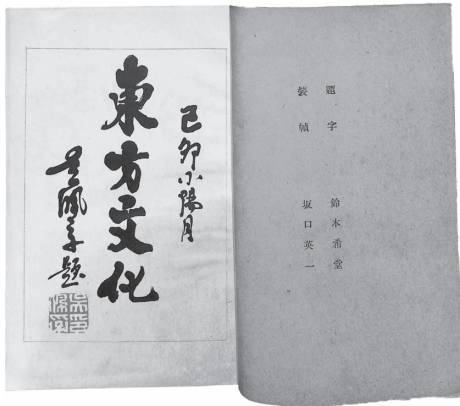
- (1) 朝日新聞1934年8月11日夕刊1頁東京「帝都教育疑獄1名の免訴もなく、醜校長全部有罪 きょう予審終結・公判へく写>



■中国の姿



寺下宗孝：著
健文社発行
1939年刊
NII書誌ID (NCID)：BA45309322
出版国コード：ja
タイトル言語コード：jpn
本文言語コード：jpn
出版地：東京
ページ数・冊数：4, 2, 2, 3, 193p, 図版
大きさ：19cm
分類 (NDC6)：049.1
アジア文化研究所登録番号：寄贈
大学図書館所蔵：8館 (2020年12月現在)



本書は、当時の中国の情勢等について記述を行っており当時のことについて知るには重要な文献だといえる。写真には寺下自身と関係していたであろう中国要人を見ることができる。寺下宗孝という人物についてもほとんど情報を見いだせない。本書『中国の姿』(p162)には「共に我が早稲田大学の出身」とあり寺下は早稲田大学の出身であることがわかる。1942年12月18日に、「比島攻略戦に従軍して」という講演会を行っている(早瀬晋三2003, p53)

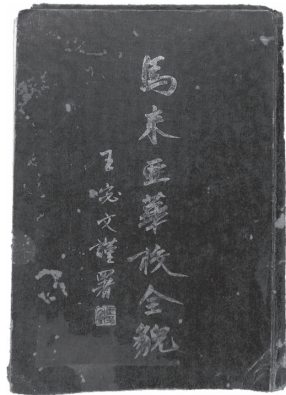
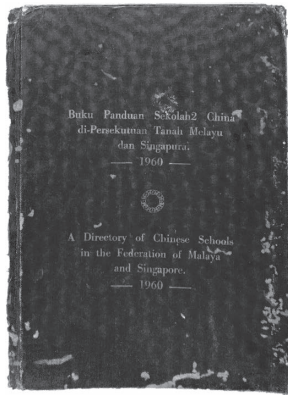
こと、「陸軍報道班員 大東亜防衛研究所長 入会」(早瀬晋三2003, p40)と記録のあることを確認できる。また、中野綾子(2015)によれば、寺下は『比島作戦従軍記 星条旗墜ちたり』(揚子江社, 1943)を執筆し、慰問図書『前線慰問笑話短篇集 笑鷲隊員の日記』(新聞通信社, 1944)を刊行している。

参照引用：

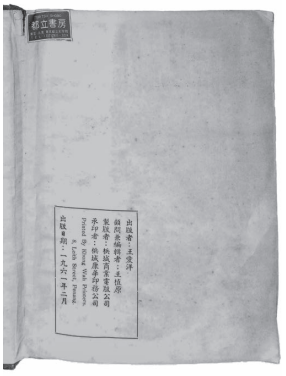
中野綾子(2015)「慰問雑誌にみる戦場の読書空間」『出版研究』45(0), pp139-157, 日本出版学会。

早瀬晋三(編)(2003)『定期刊行資料第1期 比律賓(フィリピン)情報』『解説・総目録・索引(人名・地名国名・事項)』龍溪書舎。

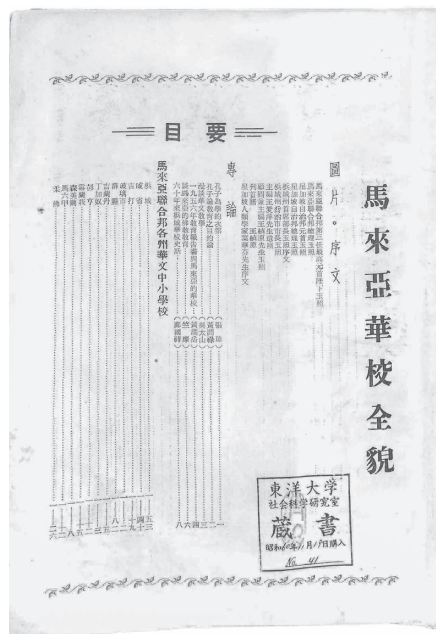
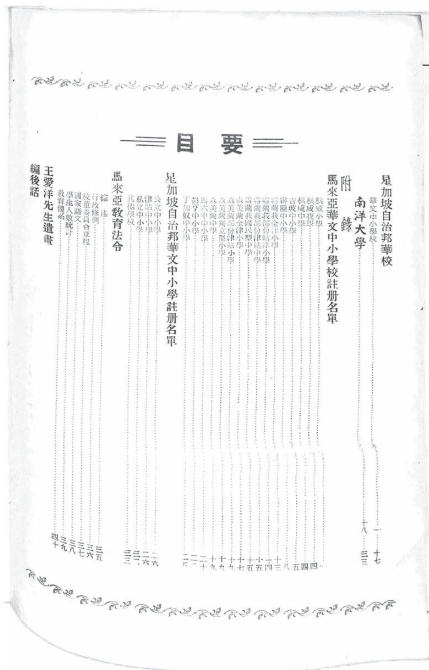
■馬來亞華校全貌



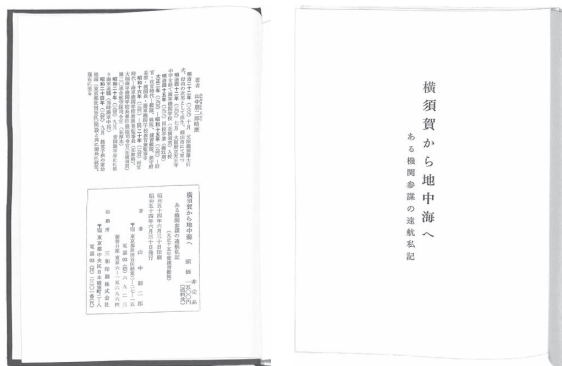
王愛洋：著
 浜城商業電版公司發行
 1961年刊
 英文題名：A Directory of Chinese Schools in the Federation of Malaya and Singapore
 アジア文化研究所登録番号：寄贈
 大学図書館所蔵：0館（2020年12月現在）



本書は、日本国内では流通していない。このような海外文献も研究にとっては重要であろう。どのような経緯で所蔵されることになったかは不明だが、目次には「孔子為学的次第」、「南洋大学創校概述」等々確認することができる。本の表紙には「A Directory of Chinese Schools in the Federation of Malaya and Singapore.」とあり、1960年における「the Federation of Malaya and Singapore」のChinese Schoolsについて知ることができる。



■ある機関参謀の遠航私記



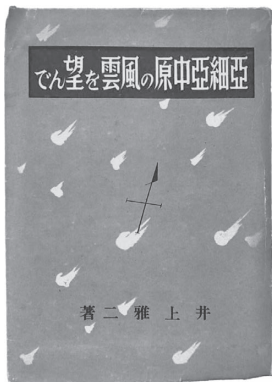
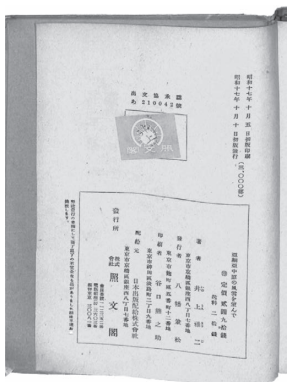
山中朋二郎：著
三和印刷発行
1979年刊
NII書誌ID (NCID)：BA43078375
出版国コード：ja
タイトル言語コード：jpn
本文言語コード：jpn
出版地：東京
ページ数・冊数：1,172p
大きさ：18cm
アジア文化研究所登録番号：寄贈
大学図書館所蔵：0館（2020年12月現在）

本書は、昭和54年に私家版として出版された。奥付のタイトルには「ある機関参謀の遠航私記（大正十五年練習艦隊）」とあるように、著者である山中の日記等をもとに再構成し出版したものである。このような私家本は、図書館に所蔵がないこともあり、当時の情報を得るためには重要な文献となる。奥付の山中の略歴には、海軍機関学校卒業後、1945年9月の帝国海軍廃止の際に海軍中将とある。タイトルにある遠航とは、「遠洋練習航海」のことで、現在でも海上自衛隊で行われていることを確認することができる(1)。このHPによれば「遠洋練習航海」とは「初級幹部に対し、外洋航海を通じて、学校等において修得した知識・技能を実地に修得させるとともに、慣海性をかん養し、幹部自衛官として必要な資質を育成するために実施」とある。山中は、クリスチャンであり(2)、戦後は幼稚園の園長に就任したとある。他に、山中朋二郎(1977)『見守る教育—幼児教育三十年の想い』(経堂子供の家幼稚園)という文献を確認することができる。以上のことから、海軍機関学校出身者で海軍中将を経験し、クリスチャンでもあった山中の著書は、戦前戦中にかけて、海軍や日本のクリスチャンについて知りうる貴重な文献といえよう。

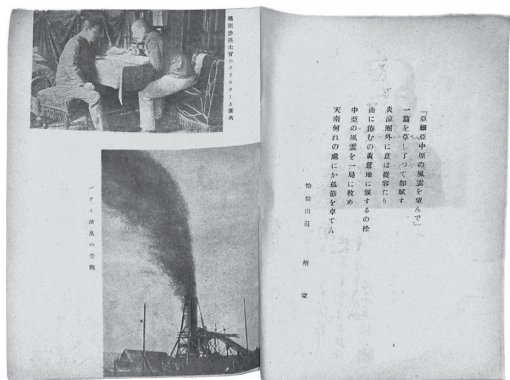
参照引用：

- (1) 令和2年度遠洋練習航海(後期) | 海上自衛隊 [JMSDF] オフィシャルサイト
<https://www.mod.go.jp/msdf/operation/training/enyo/2020a/> (最終アクセス2020年11月30日)
- (2) 雨倉孝之(2015) 日本海軍機関科将校の反乱未遂：組織を揺るがした差別問題の真相, PHP研究所。

■亜細亜中原の風雲を望んで



井上雅二：著
照文閣発行
1942年刊
NII書誌ID (NCID) : BN14739114
出版国コード : ja
タイトル言語コード : jpn
本文言語コード : jpn
出版地 : 東京
ページ数・冊数 : 5, 468p, 図版 [8] p
大きさ : 19cm
分類 (NDC6) : 292.92
分類 (NDC9) : 292.96
分類 (NDLSH) : 中央アジア - 紀行
アジア文化研究所登録番号 : 5766
大学図書館所蔵 : 7館 (2020年12月現在)



本書は、「中西亜細亜」、「西亜細亜」、「中央亜細亜」の気候文化街並み等についての説明がなされている。著者の井上雅二は、作家としても著名であろうが、大日本帝国の移民取扱業を行った殖民会社である海外興業株式会社の社長でもあった

(1)。国会図書館のHPによれば兵庫県生まれ。海軍兵学校等で学んでいる。東京専門学校卒、南亜細亜公司常務取締役、南洋協会理事、衆議院議員等、様々な肩書が確認できる (2)。本書の目次には、「トルクメニスタン」、「ウズベキスタン」、「タジキスタン」、「キルギース」、「カザクスタン」、「イラン」、「イラク」等についての記述があることが確認できる。井上の南洋協会の事業等について詳しくは、次の論文で見ることができる。これらは、インターネット上でも見ることができる。

- 横井香織 (2008) 「井上雅二と南洋協会の南進要員育成事業」『社会システム研究』16号, pp75-100.
<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/ssrc/result/memoirs/kiyou16/4.pdf>
- 藤田賀久 (2014) 「近代日本のグローバリスト井上雅二—その人物像を中心に」『多摩大学紀要』16号, pp.29-42
<https://core.ac.uk/download/pdf/267849852.pdf>

参照引用：

- (1) 井上 雅二 (いのうえ・まさじ) サンパウロ人文科学研究所
<https://cenb.org.br/articles/display/200> (最終アクセス2020年11月30日)
- (2) 井上雅二 | 近代日本人の肖像
<https://www.ndl.go.jp/portrait/datas/508.html?cat=21> (最終アクセス2020年11月30日)